

長和町の山村
再生プロジェクト

農家と東京農大生が意見交換



長和町と東京農大の
連携する取り組み「山
村再生プロジェクト」
の一環でこのほど、町
和田庁舎を会場に農家
と学生の本格的な意見

交換会が初めて
開かれた。
プロジェクト
では、同町での
実習を通して専
門的な研究を深
める東京農大生
のアイデアが、
地域の農業振興
などに役立てら
れている。
町によると、
これまで農業実
習の場で受け入
れ農家と意見交
換はあったが、
今回は座学とし
て専業農家が経
営状況などを詳
しく説明し、学
生と語り合った
【写真】
参加農家は長
久保の清野徳幸
さん(43)。16 ha
の稲作と8 haの
小麦栽培、ほか
1 haなどを手が
けている。
説明では、21年前に
Uターンしたときは兼

業農家だったが、地域
の農家の高齢化や担い
手不足から耕作を依頼
されるようになり専業
化。土地利用型農業の
ため、大型機械の導入
などを進めた。中山間
地形の農地で作業効率

があまり良くないが、
水がいいなど好条件も
あるとした。
その上で、与えられ
た条件で何ができるか
模索していると、国
としてのTPP参加な
どを想定したコストダ

ウンなど地道に努力し
ていることを説明。
参加した東京農大1、
2、4年生計15人が意
見や質問し、高大連携
の丸子修学館高校農業
科目選択生徒6人も話
に耳を傾けた。